

地震の恐怖

早くも、阪神大震災から15年

そして、記憶に新しいハイチの大地震

ハイチ地震では発生してから一ヶ月が経ってもなお

被災者の方々が苦勞している状況です。

これが今、現実に起きている事です。

倒壊した家屋



ぐしゃ!!っと潰れたように倒壊した家屋。地震の強さを物語っています。右はドミノ倒しのように倒れています。これが日本で起きたとしたら…



家屋の倒壊が大変多かったハイチの大地震。今なお余震が続いている状況です。

あの大地震が起きた後でも2月11日現在で、体で感じる地震が何と54回も起きています。

新潟中越地震が起きた後でも大地震の後、毎日のように地震が起きるたびにおびえている人々の姿をテレビでやっていた事が頭の中によぎります。

その時、家が倒壊して帰る場所がないことを考えられますか？
今まで幸せだった日々を、いきなりの自然災害で無くなってしまう。そうなった時を想像すると…

ハイチ地震が起きて早いもので1ヶ月。まだ倒壊した家屋の下敷きになっている可能性もあります。家が凶器になる事って多いのです。

新潟県中越地震で特に倒壊に対しての重要性が多かったのが、建物と思われる方も多いはず。でも一番重要だったのが基礎だったのです。

被害の代償に関らず、目立っていたのが基礎部分の破壊でした。

瓦礫の山となってしまった家屋を生々しく物語っています。右は家が傾いているのがわかります。こうなってしまうのは住める状況じゃありません。



基礎の重要性

地震と行ったらすぐに思い浮かべられるのが建物の倒壊。ですが、被害の大小に関らず目立っていたのは基礎部分の破壊です。

特に、コーナー部分（出隅）部分の被害が大変目立ちました。地震時には地盤を通して基礎に力が加わります。

地盤が強いから基礎で手を抜いて良い、そこでお金をかけなくて良いということは少しもないのです。

基礎に関しては、新しい建物からでも被害が見られました。この中には欠陥住宅などによるものと思われるものもあり、今後根本的な対策が必要だといわれます。

総務省消防庁災害対策本部

平成16年新潟県中越地震（第57報）



基礎の端部は建物が振られた際に力が集中してしまうため、破損しやすいのです。しっかりとコーナー部分に対策をしておけば安心ですね。

建物は凄いいけれど、それだけではありません。上だけよければ良いというわけでもありません。建物も人間と同じように足元からしっかりしないとダメです。基礎が弱く、崩れてしまったらどうする事も出来ません。かといって基礎だけよくしても意味はありません。全てが一体になっていないといけないのです。家が倒壊して、避難所生活をして苦しんでいる人も沢山います。でも家があれば、そこで家族が笑顔で暮らせる《幸せの器》となるのです。

これからはそういった建物が必要なのです。



家は幸せの器

私たちは、《家は幸せの器》とっております。地震が起きた後でも、安心して暮らせる家に住んでほしいと思っております。だからこそ、間違いのない建物を建ててください。

全ては家族の笑顔を守るために…

